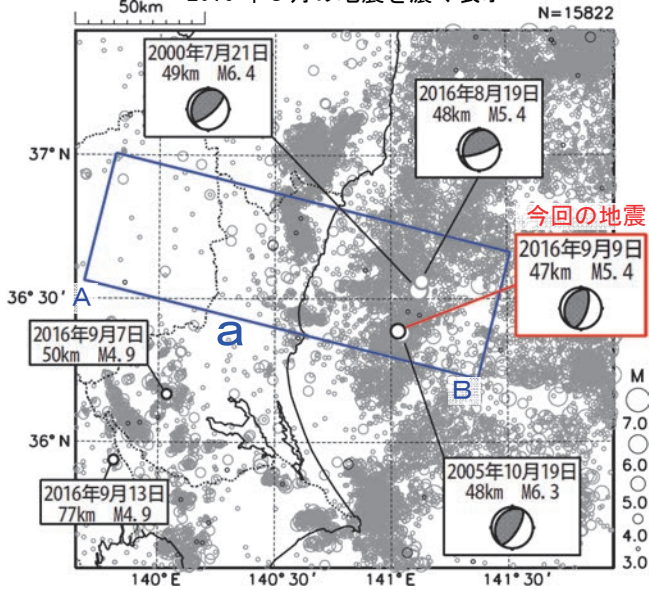
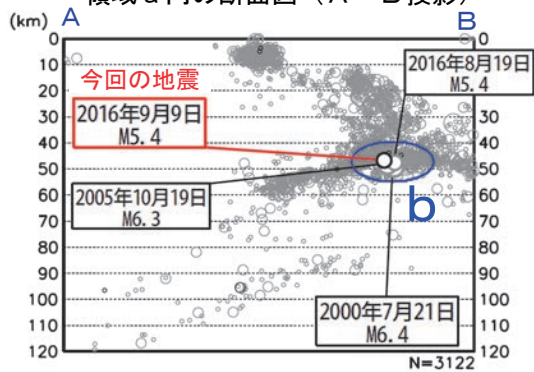


9月9日 茨城県沖の地震

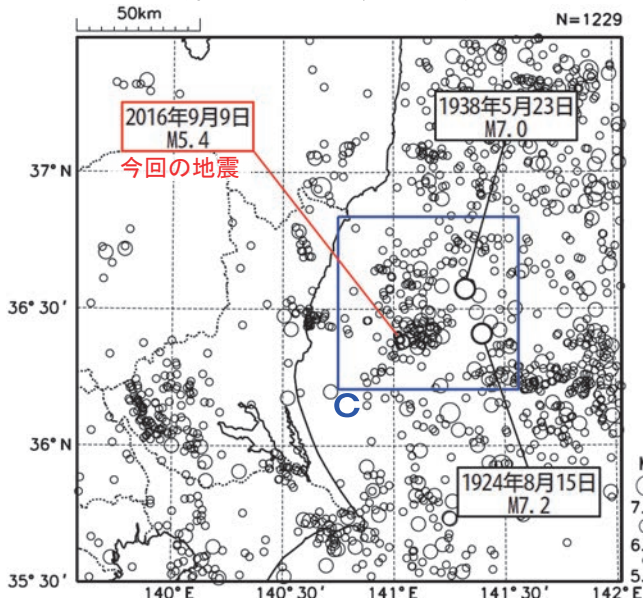
震央分布図
 (1997年10月1日～2016年9月30日、
 深さ0～120km、 $M \geq 3.0$)
 2016年9月の地震を濃く表示



領域a内の断面図 (A-B投影)



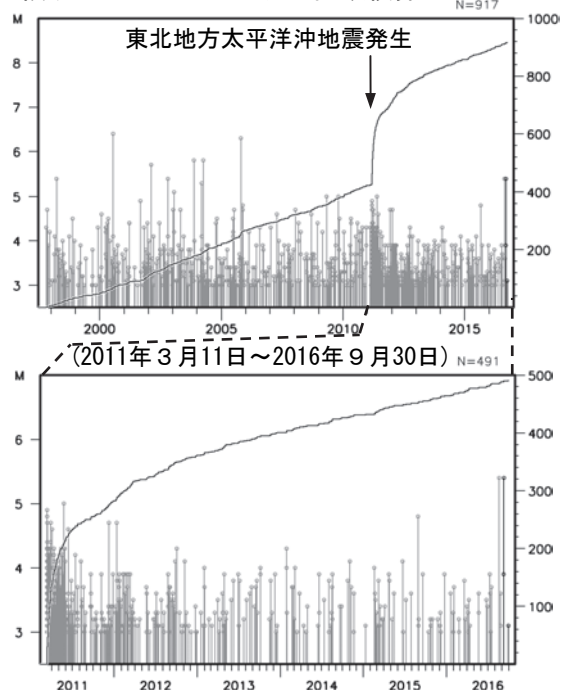
震央分布図
 (1923年1月1日～2016年9月30日、
 深さ0～120km、 $M \geq 5.0$)



2016年9月9日20時53分に茨城県沖の深さ47kmで $M 5.4$ の地震(最大震度3)が発生した。この地震は、発震機構が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、2005年10月19日に今回の地震とほぼ同じ場所で $M 6.3$ の地震(最大震度5弱)が発生するなど、2005年までは $M 5.5$ 以上の地震が時々発生していた。2006年以降は、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の発生以降の地震活動が一時的に活発になった時期を含めても、 $M 5.5$ 以上の地震は発生していない。

領域b内のM-T図及び回数積算図



1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、 $M 7.0$ 以上の地震が2回発生している。このうち1938年5月23日に発生した $M 7.0$ の地震では、福島県小名浜で83cm(全振幅)の津波が観測された(「日本被害地震総覧」による)。

領域c内のM-T図

